



# 東 俣 野 5月号

東俣野小学校 学校だより 平成30年5月2日

## 教育活動の見直し

校長 村田 幹男

4月は、子どもたちが、いろいろな場面で、人に優しく接している姿が見られました。例えば、登校時には、多くの子が新1年生を面倒みてくれていましたし、休み時間や放課後も、転んでけがをした、上着がなくなったなど、何かトラブルが生じてしまった子にも、周りが温かくかかわって手助けしていました。そして、6年生は、朝、休み時間、給食の時間と、1年生の教室に行って、お世話活動をしていました。ですから、私も「ありがとうね」と声をかける機会が多く、嬉しい新学年のスタートでした。

さて、昨年度末にお知らせしましたように「家庭訪問」を、各家庭の場所を確認する「地域訪問」と希望者による「個人面談」に切替えました。家庭訪問期間中は授業準備をしたり教室環境を整えたりする時間がとれないという課題を解決するために変えた活動です。この他にも、今年度変更した教育活動がいくつかありますので、紹介します。

- 給食白衣用帽子を個人持ちにします。(より衛生面に配慮します。)
- 総合の時間にかかわる対象を、3年 原宿ケアプラザ → 朝日塾、特別支援学校とのなかよし訪問交流に。6年 特別支援学校とのなかよし訪問交流 → 原宿ケアプラザ に変えます。  
(学年の教科の内容と総合の時間のかかわりがより自然となるように。)
- 運動会の東俣野特別支援学校との交流種目を 3年、5年 → 4年、5年 に変えます。  
(1、2年:ペアクラス交流 3年:なかよし訪問交流 4、5年:運動会交流 と系統的交流に。)
- 全学年で行っていたスタスタ持久走大会を3~6年対象に変えます。  
(1、2年の持久走は、体育の教育課程内容に照らし合わせるとそぐわない点もあり、多様な動きを伴う運動あそびに変えて体力づくりを行います。)
- 45年合同での愛川宿泊体験学習を来年度から行き先を別々にします。  
(ひと学年での活動の方が動きがとりやすいし、5年生には行き先が変わる新鮮さがあります。)
- 夏休み作品展、12月の作品展と2回行っていた作品展を、夏休み明けの1回のみになります。  
(12月の作品展は作品展と銘打たなくても授業参観の折りに十分作品掲示ができます。)
- 土曜参観翌週の「オープンスクール」と「2月授業参観」をなくします。  
(オープンスクールは実質あまり来校者がありません。2月の授業参観も他の時期に比べ来校者が少なく、3月の授業参観と近いこともあり精選を考えました。)

また、教育活動の変更ではありませんが、次のことも変わります。

- 学校 HP (ホームページ) QR コードをつくりました。今月から学校だよりに載せていきます。学校 HP へのアクセスが容易になりますので、ぜひご覧ください。これまで学校だよりに載せていた「学校生活・学習活動の様子」はHP「ひがまた日記」に移行いたします。
- 緊急時対応マニュアルが新しくなりました。対応について細やかな内容にリニューアルしています。
- 学校閉庁期間を実質1週間から実質2週間にします。
- 勤務時間外の留守番電話の設定をします。(閉庁期間の拡大と留守番電話設定は市全体の取組です。)

この3月に横浜市教育委員会から「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」が発表されました。本校の今年度変更した教育活動も、現状の活動を精選して子どもと向き合う時間を確保するといったプランの主旨をもとに決めさせていただきました。保護者・地域の皆様にもご理解いただけますようお願いいたします。